

マッサワ病院



マッサワ病院の外観

140床の病院。管理棟は4階建てで築約50年を経過している。管理棟以外は1階建て。放射線科と検査室は本館に位置する。本館とは離れて、手術棟、キッチン・ランドリー棟、ワークショップ棟、非常用発電機小屋、淡水化プラント小屋がある。中央診療機能を担う手術部、放射線科、検査などの既存建物は、いずれも老朽化している。



手術室

本館に隣接する形で、独立した一階建ての建物の中に一般外科と整形外科の2つ手術室と1つの滅菌室が配置されている。手前の2台が手術台(動作に不具合がある)、奥が麻酔器(気化器の故障のため、使用していない)である。いずれも保健省から供給された。



X線撮影装置

X線撮影室に設置。約20年前に保健省から供給された。ポーランドのFarum社のS-15型。動作する。



電気メス

手術室に設置されている。約1ヶ月前に保健省から供給された。Martin Electrotom社の170RF型。動作する。



淡水化プラント

約6ヶ月前にItalian Cooperationにより供与された。海水を取水して真水に変える装置。最大1.5m³/時間の仕様。動作する。



オートクレーブ

手術部の滅菌室に設置されている。1998年にイスラエル政府から供与された。Tuttner社の4472/80型。動作する。

ビラッジオジニオ病院



ビラッジオジニオ病院の外観

約 64 床の病院で母子部門のみ開院した。2005 年に新築した。管理棟の 2 階建て以外は 1 階建てである。医療機材は無く、手術室を含む外科病棟を増築予定である。



管理棟 1 階の内部。患者ベッドのフレームが置かれている。



病院の正面建物から裏手の様子



管理棟の廊下から見た診療棟の外観



管理棟の 2 階の回り廊下から、1 階の内部



管理棟の 2 階の内部